

鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館の 委託業務に関する事業計画書

令和5年8月18日



一般財団法人鳥取県観光事業団

鳥取県立自然史博物館
鳥取県立自然史博物館
鳥取県立自然史博物館



本提案書類は、指定管理者選定要項に基づき令和5年8月時点で計画されたものであります。今後、鳥取県の施策や社会情勢の変化を踏まえ、県と綿密に協議し、提案内容を適宜見直しながら、年度の事業計画を立案いたします。

目次

1 管理運営の基本的な考え方

(1) 鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館の指定管理者を希望する理由	
ア 指定管理期間中の実績	1
イ 次期指定管理での主な改善や新しい取り組み	6
(2) 管理運営の方針	
ア 利用者へのサービスをさらに充実します	6
イ 利用者の増加に取り組みます	8
ウ 住民の公平な利用を確保します	8
エ 収入の確保と経費の節減に努めます	8
オ 鳥取県と連携確保に取り組みます	8
カ 省エネルギー・省資源に取り組みます	8

2 管理の基準

(1) 開館時間の考え方と実施内容	
ア 考え方	9
イ 設定内容	9
(2) 休館日の考え方と設定内容	
ア 休館日の考え方	9
イ 休館日の設定内容	9
(3) 受付・案内等の考え方と実施内容	
ア 考え方と実施内容	9
イ 利用者の苦情等の未然防止と対処方法	9
(4) 個人情報の保護への対応	
ア 運営上入手する個人情報の取扱い	10
イ 入手した個人情報の適正管理	10
ウ パソコン等の情報端末機器適正管理	10
(5) 情報の公開への対応	10

3 施設の管理・運営

(1) 施設設備の維持管理業務の考え方と実施内容	
ア 業務実施の考え方	11
イ 業務の実施内容	11

4 外部委託の発注予定

(1) 外部委託の考え方	
ア 外部委託する業務の内容	18
イ 委託先の選定方法	18
(2) 外部委託の業務内容	19
(3) 障がい者就労施設及シルバー人材センター等への委託の発注予定	19

5 利用促進、サービス向上

(1) 集客促進のための取組方針及び内容	20
ア 広報活動	21
イ 営業活動	21
ウ 行きたいと思わせる情報発信	21
エ 自然観察会等イベントの開催	21
オ 団体や個人等からの自然体験プログラム実施要望(リクエスト)への対応	22
カ 地域と連携した氷ノ山・若桜町の賑わい創出への取り組み	26
キ 展示や施設の魅力向上	27
ク 安心・安全な氷ノ山登山への取り組み	28
(2) 自然観察会等イベントの内容	
ア 実績あるイベントの内容充実	29
イ 新規イベントへの取り組み	29
ウ エコツーリズムの実践	29
エ NPOやボランティア等との連携	29
オ 当事業団の組織を活かした取り組み	29
カ イベントごとの実施内容	30
キ 令和6年度定例イベント年間スケジュール	33
(3) 自主事業	35
(4) 利用者等の要望の把握及び対応方針	
ア 実施内容	36
イ 対応方針	36

6 事故・事件の防止措置と緊急時の対応等

(1) 火災・盗難・災害等の事故・事件の防止(防災)対策	
ア 事故・事件を起こさない対策	37
イ 事故・事件発生時の対処	37
(2) 緊急時の体制・対応	
ア 傷病者等発生時の対応	37
イ 暴力事件等発生時の対応	37
ウ 不審者事案等発生時の対応	38
エ 不審物事案等発生時の対応	38
オ 火災発生時の対応	38
カ 地震発生時の対応	38
キ 停電発生時の対応	38
ク 風水害等発生時の恐れがある時の対応	38
ケ 入館者トラブル・苦情等への対応	38
(3) 保険加入の考え方と加入内容	
ア 考え方	39
イ 保険の加入内容	39

7 管理経費

(1) 管理経費の効率化の考え方	40
(2) 県委託料の額	40

8 組織及び職員の配置等

(1) 管理運営の組織	41
ア 実施体制の考え方及び実施内容	41
イ 施設長の人選についての考え方	42
(2) 職員の職種等	43
(3) 現在の指定管理者の雇用する施設職員の継続雇用に関する方針	43
(4) 日常の職員配置	43
(5) 人材育成	44
ア 基本方針	44
イ 人材育成計画	45
(6) 各種団体の役割、経費に関する責任分担等に関する事項	45
(7) 障がい者又は高齢者の雇用計画	45

9 関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況及び対応状況

(1) 関係法令に係る監督行政機関からの指導等の状況及び対応状況	46
----------------------------------	----

10 法人等の社会的責任の遂行状況

(1) 障がい者雇用	47
(2) 男女雇用参画の推進	47
(3) ISO14001 鳥取県版環境管理システム審査登録制度(TEAS) I種 又はII種規格認証等	47
(4) あいサポート企業等の認証	47
(5) 鳥取県家庭教育推進協力企業としての協定締結	47
(6) SDGsの取り組み	47

11 その他の計画等

(1) 管理業務の移行計画	48
(2) 他の管理施設の実績	48

1 管理運営の基本的な考え方

(1) 鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館の指定管理者を希望する理由

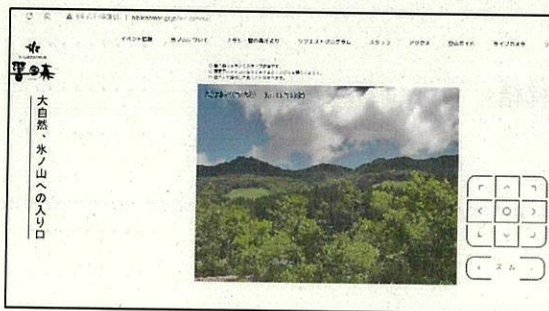
- ・自然ふれあい館(以下「響の森」という。)は「国定公園氷ノ山の豊かな自然を紹介し、その魅力を体感できる場所を提供するとともに、自然を大切にする心をはぐくむ」ことを設置目的としています。
- ・私たち一般財団法人鳥取県観光事業団(以下「当財団」という)は、平成11年の開館以来響の森の管理運営を担い、**インタープリター(自然解説専門員)等の施設目的に有益な資格を有する人材**をもって氷ノ山の自然情報の発信や環境教育、氷ノ山のにぎわい創出や環境保全等の活動に取り組んできました。

ア 指定管理期間中の実績

1) 氷ノ山の自然情報の発信

a) ホームページやSNSによる情報発信

- ・**ライブカメラ**を設置して、自宅からでも氷ノ山の自然の様子が見られるようになりました。
- ・**SNS**で開花情報や動物の出現情報を発信し、氷ノ山の豊かな自然の様子をタイムリーに伝えるようになりました。氷ノ山を訪れるきっかけになっています。



【ホームページから見たライブカメラ】



【開花状況を伝えるインスタグラム】

b) 季刊誌「響の森だより」の発行

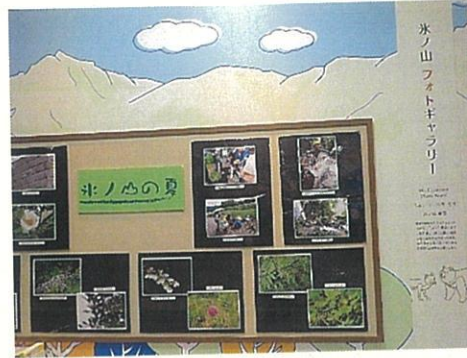
- ・昆虫や樹木等氷ノ山の自然や響の森での取り組み等をわかりやすく・詳しく解説している特集記事や、クルーの活動紹介等について職員が執筆し年4回3,500部発行しています。本誌はリピーターや県内東部の幼・保育園や小学校、関係機関、県内外の観光施設に配布して、氷ノ山の自然や響の森の活動を紹介します。また、**ホームページにも掲載し、誰でも読めるようにしています。**



【季刊誌「響の森だより」】

c) 館内展示による氷ノ山の自然紹介

- ・四季折々の氷ノ山の自然の様子や自然体験プログラムを楽しんでいる参加者の様子等を撮影し、写真展示等で入館者へ紹介しています。



【氷ノ山フォトギャラリー】

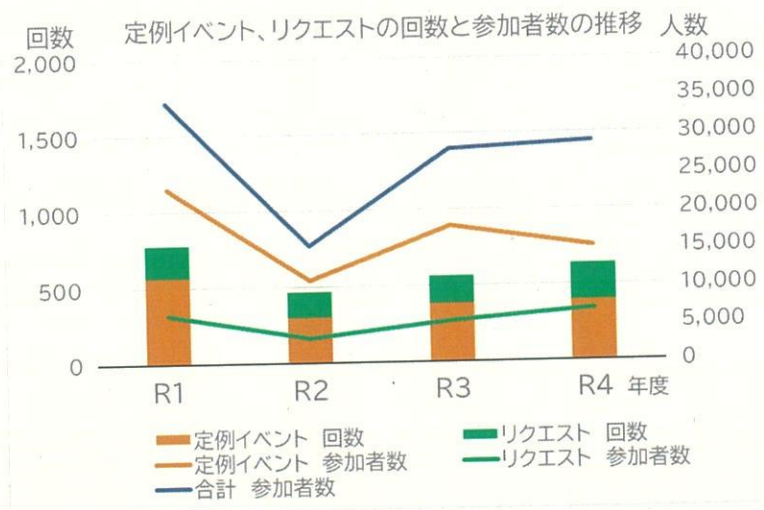
- ・エントランスホールでは、「森の小さな水族館」として鳥取県東部の淡水魚を生体展示しています。氷ノ山を源とする河川における自然環境の豊かさを紹介しており、生きた状態の展示ですので、子どもだけでなく大人にも熱心に見ていただいています。



【森の小さな水族館】

2) 環境教育への取り組み

- ・自然に関する知識と、人に伝えるコミュニケーション能力・人とつなぐ技術をあわせ持つインタープリター(自然解説専門員)が常駐しています。
- ・①あらかじめ開催日を設定して自然体験プログラムを実施する定例イベントだけでなく、②小中学校や子ども会、家族等からの依頼にも対応して(リクエスト対応)、環境教育を実践しています。
- ・新型コロナウイルス流行の初期は参加者数が落ち込みましたが、開催形態を工夫する等コロナ禍でも安心して参加できるようにして、感染状況が落ち着くとともに復調しています。



【令和1~4年度定例イベント、リクエストの回数と人数】

1 管理運営の基本的な考え方

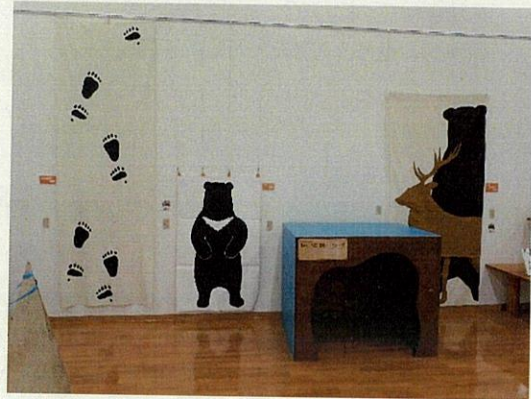
a) 定例イベントの開催

- ・自然観察会等の野外での活動、自然を素材にした創作体験、企画展等を、年間392回開催し、延べ15,019人の参加がありました(令和4年度)。
- ・親子自然研究クラブは毎月1回年間9回開催し、延べ102人の参加がありました。定員を絞って開催し、四季を通して氷ノ山の動物、植物を観察しました。観察での目の付け所や記録の取り方について、参加者一人一人にきめ細かに対応し、気づき・考える力を養えるよう取り組んでいます。



【アカハライモリの観察】

- ・夏休みや秋に企画展を開催し、氷ノ山の自然を紹介するという設置目的達成のため、シカやクマ等氷ノ山の自然をテーマとして取り上げ、外部講師や関係団体と連携して、氷ノ山における野生動植物の生態、保全や課題解決への取り組みを紹介する展示や講演会等を行っています。

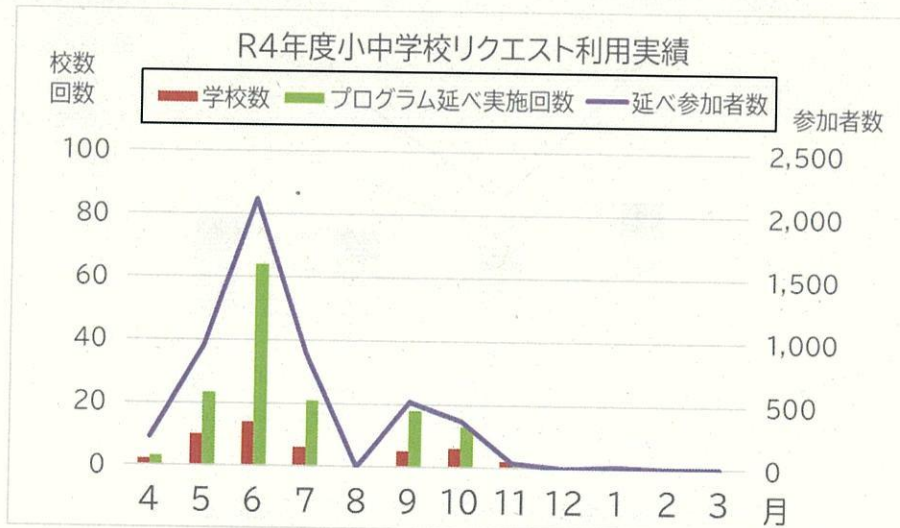


【クマ展の開催】

b) 小学校や子ども会等の団体からのリクエスト利用への対応

i) 氷ノ山での対応

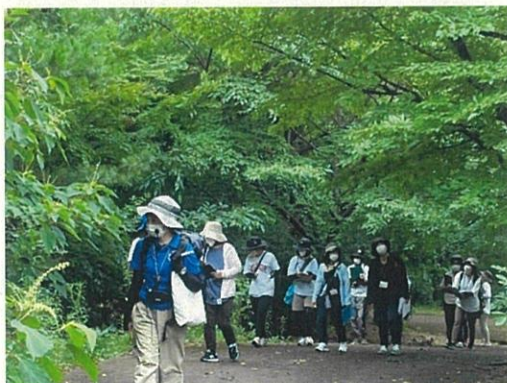
- ・氷ノ山登山や自然散策等では、参加者が安心して自然を楽しむガイドを行い、合わせてブナ林など氷ノ山の特徴的な自然を紹介し、その保水力と水源としての日常生活とのつながり等の解説をおこなっています。(R4年度学校利用実績:34校 延べ126回、延べ4,449人)



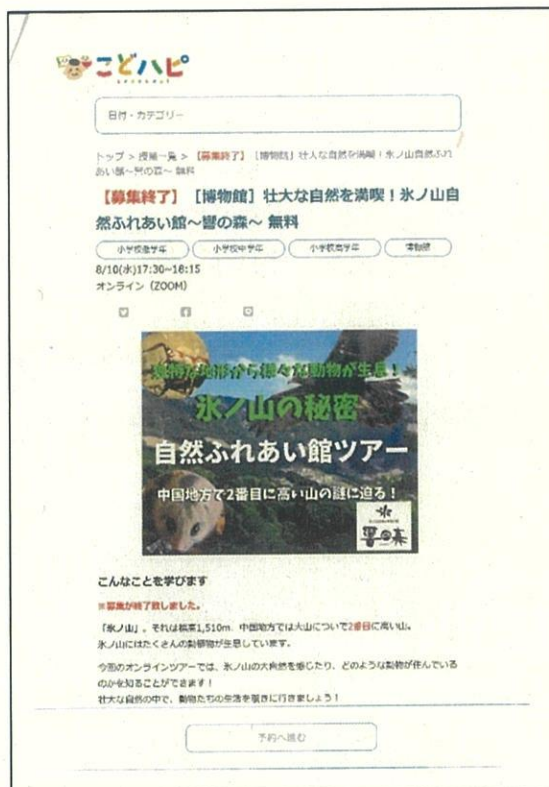
【令和4年度小中学校の月別利用実績】

ii) 出前（アウトリーチ）での取り組み

- ・学校の**宿泊研修の事前事後の学習**や校外学習として、小学校に出向いて氷ノ山の自然の紹介や**学校周辺での自然観察等**に取り組んでいます。
- ・**保育士等大人の指導者向け**に自然体験プログラムの実践法や野外での安全管理講習なども行っています。
- ・**オンラインスクールに参画**し、全国の親子向けに氷ノ山の自然を紹介する取り組みも行っています。



【鳥取市保育士向け研修会】



【オンラインスクール開催案内】

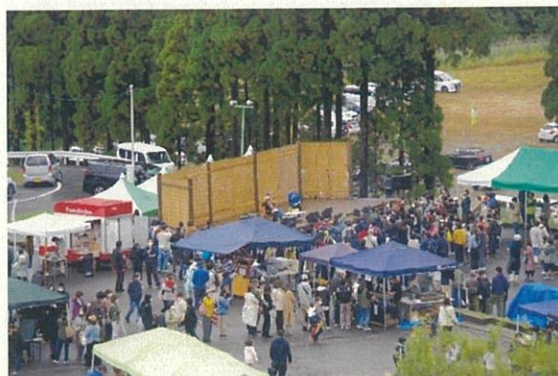
3) その他の主な実績

a) 地元と連携した氷ノ山の賑わい創出

- ・「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会」の一員として、**わかさ氷ノ山夏山開きイベント**では登山ガイドやふれあいの里周辺のガイドツアー対応等で協力し、氷ノ山への集客に取り組んでいます。
- ・「わかさ氷ノ山・山フェス実行委員会」事務局を引き受け、宿泊施設や関係団体と連携・調整を行いながら、開催に向けて積極的に取り組み、氷ノ山の魅力を県内外の幅広い客層に伝え、氷ノ山を訪れるきっかけ作りを行っています。(令和4年度参加者数:約1,300人)



【夏山開きでのガイドツアー】



【わかさ氷ノ山・山フェスでのステージイベント】